

上 田 勉

14年7月1日、自公連立政権、密室協議で集団的自衛権の行使を閣議決定
憲法第9条を崩す解釈改憲—海外で武力行使を容認
日本—「戦争をしない国」から「人を殺し殺される国」へ180度転換
自民党—野中広務元幹事長、古賀 勝元幹事長、加藤紘一元幹事長、山崎 拓元副総
理、公明党—二見伸明元副委員長—反対を表明
海外でのボランティア活動—日本は米国の同盟国とみなされて、より危険で困難に
公明党—連立の果実（蜜の味）に溺れる、結党50年、「平和の党」から「戦争する
党」へ変質
内閣法制局—「憲法の番人」から「政府の下僕」に転落
朝鮮有事—北朝鮮の報復爆撃の標的は、日本の米軍基地と原発
集団的自衛権の行使—ベトナム戦争で韓国軍、死者4千7百人、負傷者1万人
元韓国兵—ベトナムで非戦闘員（農民や婦女子）を殺りく、心の病い未だ癒えず
自衛隊—戦死する自衛隊員の国葬と靖国神社に英霊として祀る準備に着手か
「戦争の不**安倍**増」「解釈変えるな 安倍を変えろ」

K君（金正恩）とO君（オバマ）はいつもケンカをしていました。O君の友達のA君（安倍）は、O君から加勢を頼まれても、「僕には憲法第9条があるから、ケンカは出来ないんだ」と言っていました。

しかし、A君は突然に「O君がケンカをしたら、僕の存立が脅かされる。」「1発殴るだけなら、憲法には抵触しない」と言って、K君を殴りました。隣りにいたY君（山口）も「僕はケンカは嫌いだったんだ。」「しかし、A君と密室で協議をした結果、ケンカが好きになったんだ」と言って、K君に殴りかかりました。

K君は「君達は関係ないのに、どうして僕にケンカを売るんだ」と言って、A君とY君に殴り返して、大ゲンカになりました。気がついたら、O君はその場にはいませんでした。

東北の地方紙—集団的自衛権の閣議決定—一斉に批判

- 「国民に改正の是非を問え」 （「東奥日報」）
- 「国民合意なき閣議決定に反対」 （「陸奥新報」）
- 「専守防衛の国は揺らぐ」 （「デーリー東北」）
- 「主権者の意思を顧みよ」 （「岩手日報」）
- 「9条踏みにじる暴挙だ」 （「秋田さきがけ」）
- 「重い選択、あまりに軽く」 （「河北新報」）
- 「平和憲法に最大の試練」 （「山形新聞」）